

第8回茅野市総合計画審議会会議結果報告書

会議の名称	第8回茅野市総合計画審議会		
開催日時	平成29年12月22日(金) 18時30分～20時20分		
開催場所	茅野市役所 8階大ホール		
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	傍聴者の数 0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	<p>○議事</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 第3回第5次茅野市総合計画策定全体ミーティングの概要について 資料1</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第5次茅野市総合計画基本構想(素案)について 資料2</p> <p>(2) その他</p> <p>5 その他</p> <p>次回会議日程 第9回：平成30年2月1日(木) 午後6時30分 市役所8階大ホール</p> <p>6 閉会</p> <p>○議事録</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>茅野市総合計画審議会も3回の全体ミーティングを経て第8回目となり、素案は最終段階に差し掛かった。本日も忌憚のないご意見をいただきたい。また、当審議会からの答申書に、付帯意見を付けたらどうかと考えている。後ほどご審議をいただきたい。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 第3回第5次茅野市総合計画策定全体ミーティングの概要について 資料1</p> <p>・・・資料1に基づき報告・・・</p> <p>第3回全体ミーティングでの質問の概要が報告された。全体的に共通するような質問があったが、事務局の説明が会議内容骨子となる。意見・質問はあるか。</p> <p>(意見・質問なし)</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第5次茅野市総合計画基本構想(素案)について 資料2</p> <p>・・・資料2に基づき説明・・・</p>		
会長			
事務局			
事務局			

牛山こども部長
田中都市計画課長

会長

素案の変更点について説明された。今回初めて見る項目としては第 6 節土地利用構想について担当課から説明があった。

素案について意見・質問はあるか。

委員

素案 P24 『やさしさのあるまち』が箇条書きになり、非常に分かりやすくなった。『市民同士が支え合い、お互いを認め合うこと』の「市民同士が支え合う」は“やさしさ”を指しているが、「お互いを認め合うこと」は何を指しているのか具体性に欠ける。立場を尊重するという意味なのか、存在を認め合うことなのかははっきりしない。説明にもあったが、今後防災等も重要なポイントとなることから、『市民同士が支え合い、助け合うこと』のように具体的に示した方が、将来像がより具体的にわかりやすくなるのではないか。

素案 P25 『1 地域やあらゆる世代で…』に地域コミュニティと公民館に注釈があるが、下の注釈を見ないと意味が分からないため、本文に注釈の文言を入れてしまったらどうか。

素案 P25 『1 地域やあらゆる世代で…』に「…地域やそこに住んでいる人が元気になる…」とあるが、「元気になる」という部分に違和感がある。例えば『地域が元気になり、住民が安心して暮らせることを目指します。』とすれば、すっきりするのではないか。

素案 P27、保健・医療・福祉分野の基本計画に『第 2 次茅野市食育推進計画』が盛り込まれている。食育推進というと子育て・教育・文化分野のイメージを持っていたが、この位置づけについて確認したい。

事務局

P24 と P25 に係るご意見については、持ち帰り検討する。

P27 食育推進計画の位置づけについては、計画の主旨が、健康を維持するための食生活といった考え方であることから、保健・医療・福祉分野に位置付けている。

委員

P24、P25 の件は検討をお願いしたい。

食育推進計画については承知した。

委員

先ほどの『市民同士が支え合い、お互いを認め合うこと』を『市民同士が支え合い、助け合うこと』と具体的に示してはどうか。」という意見について良い問題提起だと感じた。『お互いを認め、支え合い助け合う』という順番ではどうか。障害者、社会的少数者、外国籍住民やその子ども、未婚者など色々な人や考え方があることを認め合った上で、初めて助け合うことができると思う。

委員

今の提案に同感である。

全体的に良く整理されている。特に計画体系図は数多いプランの整合性がうまく整理されている印象を受けた。しかし、きれいに整理してしまうと柔軟性に欠けてしまうことから、あまり杓子定規にならずにまとめてほしい。

P31 の人口減少・少子高齢化対策の推進の内容にだけ「KPI を設定」など

	<p>と具体的に明記されているが、おそらく各分野においても指標等を設定して進行管理していくようになると思うので、ここだけ明記する必要はないのではないか。</p> <p>P41 の市街地ゾーンの内容について、例えば自動運転カーへの対応やシャッター街への対応など、交通面や商業面における『利便性』という観点からもう少し具体的に踏み込んで書いた方が、市街地への誘導といった点からも良いのではないかと。</p> <p>資料 2(参考)『連続性のある土地利用と…』の連続性について、特に観光面からは、茅野市を含む周辺一帯のエリアが連続していることに価値があるので、行政の壁を意識せず、茅野市が率先して連続性のあるアピールをして周囲の地域を巻き込んでどうか。</p>
岩崎地域戦略課長	<p>P31 の人口減少・少子高齢化対策の推進については、平成 27 年度に茅野市地域創生総合戦略を策定し、現在推進している。進行管理においては、設定した KPI の実績等を踏まえて行っているため記載をした。</p>
事務局	<p>KPI を明記した背景について担当課から説明があったが、今回の計画全体の考え方として、他の分野でも指標を設定し、進行管理を行っていく方向であることから、ここでの文言は削除の方向で検討したい。</p>
田中都市計画課長	<p>P40 連続性について、この項目があくまでも全体方針の部分ということで柔らかい表現で表記している。都市計画マスタープランにおける地区別の方針の項目で、連続性や市街地整備の具体的な内容を示している。</p>
委員	<p>連続性については行政の壁にとらわれず、価値のある連続性に茅野市が踏み込んでいってどうか。</p> <p>市街地ゾーンについてはもっと目的を踏み込んで記載した方がいい。意見であるため反映されたら嬉しく思う。</p>
会長	<p>連続性は広域的な連携の中で非常に重要な概念となるため、ぜひ強調してもらいたい。</p> <p>市街地については、ただ誘導するのではなく、市街地の魅力により自然に集約されていくような具体的な施策内容を含めて、検討していただきたい。</p>
委員	<p>ゾーニングについて、きれいにまとめられているが、これを実際に進めていくときのイメージがわからない。</p> <p>P40 の連続性について。茅野市が諏訪地域の広域的な中心拠点のひとつとして諏訪地域をリードしていくという自覚が織り込まれていることは今までになく、とてもいいと思う。全体を引っ張っていく、新しい提案をしていく活力ある市になると思う。</p> <p>中心市街地へ移り住むことで増える空き家・空き別荘などの問題に対する具体的な解決策は気になる点である。</p> <p>とてもきれいにまとまっているが、茅野市は工業団地や住宅団地が広く点在しているため、国が進めるコンパクトシティのような一律のまちづくりは難しいと思う。茅野市の課題を明確にしながらか施策に取り組んでいく必要がある。</p>

会長	<p>茅野市は白地のところに農住共生ゾーンが入っているため、既存の施設等との連携をどうしていくか、課題であると思う。施策で考えていただきたい。</p> <p>P26 と P43 のパートナーシップのまちづくりに係る部分についてはまだ未定稿となつてはいるが、基本構想全体として非常にうまくまとまってきたおり、パブコメにかけてもよいかという段階に来ている。事務局で字句の訂正などをするが、全体の枠組みと配置についてはご承認いただければパブコメにかけ、更にそこから意見を抽出したいと思うが了承いただけるか。(意見なし)</p> <p>ではこれをパブコメへ回していただきたい。</p>
事務局	<p>活発なご意見ありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見は、修正すべきところは修正し、庁内手続きを経た後、パブコメに入らせていただく。結果については次回審議会で報告させていただきます。</p>
委員	<p>パブコメへは未定稿の部分は原案として出すということか。P26、ゆいわーくの説明と進め方について後半に記載があるが、市民には分かりにくいと感じた。『あらゆる主体が、そして、様々な活動が自立し…』は『あらゆる主体や、様々な活動が自立し、連携しながら発展し…』と繋げれば分かりやすいのではないか。</p> <p>『将来像の実現に向け融合するまちづくり…』とあるが、『融合』は何を指しているのか分からない。具体的にするか、言葉を変えるよう検討していただきたい。</p>
事務局	<p>いただいたご意見を参考に、書き換えたいと思う。</p>
会長	<p>パブコメへ回す承認をいただいたので、次の手続きへ移りたい。</p>
会長	<p>(2)その他</p> <p>基本構想の答申にあたり、この計画をより具体的に推し進めていくきっかけになるようなコメントを付けて市長へ答申したい。事務局から参考資料が用意されている。</p>
事務局	<p>・・・参考資料に基づき説明・・・</p>
会長	<p>県への答申を見ると、1～8の中で1～7は割と抽象的に表現されているが、8は個別に表現されている。</p> <p>甲府市の場合は留意点を3つにまとめている。</p> <p>塩尻市の場合は市の特色について気を配るように、目標実現のために施策を推進するようにとある。</p> <p>茅野市で付帯意見を付けるとすればどういった切り口がいいか考えてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5次総の中の最重要課題は何なのか、そして最重要課題に対しての施策を優先的に推進してくださいとのお願いはどうか。 ・人口減少・少子高齢化へ向けての子育て・教育のかたちについて、ぜひ

	<p>重点的に取組んでくださいと付帯に付けたらどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅野市の特徴を活かした計画の進め方をぜひお願いしたらどうか。 ・進行管理はどんな点に気を付けるか。人口、高齢化率、生産年齢人口等に目標値を設定し目標に向かってもらうのか。 <p>委員それぞれの分野の意見もあると思うが、全体的な視点で付帯意見の案を出していただきたい。事務局で持ち帰り検討する。</p>
委員	<p>人口について、きれいにまとめればまとめるほど絶望的というか、あまりいい数値が出ない。なぜ上向かないのかと考えてみたら、P36のグラフを見ると、高齢者の自然減は仕方ないとして、少子化は食い止めて年少人口の割合は一定になると言っているが、生産年齢人口が増えていかない。子どもが減っていかないのになぜ生産年齢人口が増えないのかと考えた時に、移住をもっと積極的に行えば移住者の子どもが生まれ、そのまま茅野市で育ててくれば生産年齢人口と子どもが同時に増えるのではないか。そう考えるとやはり子育て環境の充実、自然環境の充実は大きな魅力である。魅力をアピールし、交流人口を促進することで移住促進という意味での人口政策が繋がっていく。そうした点を付帯事項の内容に入れるといいのではないか。</p>
会長	<p>前回の4次総と大きく変わるのは、5次総では人口減少・少子高齢化に向けてのスタンスだったと思う。人口減少と少子高齢化への対策は大きな課題である。子育て、教育、雇用というのは最重点課題として付帯意見に付けていただきたい。</p>
委員	<p>“茅野市の子育ては優れている”とアピールすると同時に、人手不足の企業が30代～40代の中途採用を積極的に行うことで、色々な問題がひとつずつ解決するのではないか。</p> <p>茅野市の良い特色は、行政と市民が近い所である。行政と市民等との意見交換が活発に行われ市民の活動が活発であると、他市町村民からうらやましいと言われることがある。より一層よい方向へ取り組んでいただきたい。</p>
委員	<p>これからもパートナーシップが盛んになることで、色々な市民が加わってくるが、自分の経験から参加した市民が理解しやすいような、データ、統計、グラフを見て分かりやすいかたちで作ってほしい。</p> <p>素案への意見になるが、P24の『お互いを認め合うこと』について。『対等な立場で認め合う』とすれば、認める目的が絞られてくるのではないか。</p>
会長	<p>市民と行政との距離感や、目指すまちの将来像を共有していかななくてはいけないことから「具体的なかたちで提案してほしい」という意見はとても大事なことだと思う。行政で留意をしていただきたい。</p> <p>10月の審議会で市民プランの進行管理を総括した提言を進行管理委員会からいただいたが、その資料はあるか。</p>
事務局	<p>10月の第6回審議会で、市民プランの総括について、資料提出と報告をした。その資料にもあるとおり、市民プラン進行管理委員会が、H22～H29までの8年間にわたる市民プランの進行管理を踏まえて、第5次総合計画を進行管理していくにあたっての留意点を整理し、市長へ報告したものであ</p>

会長	<p>る。</p> <p>付帯意見への案があれば意見をいただきたい。</p>
委員	<p>人口減少をどう食い止めるかについて、移住促進や子育てがしやすい環境づくりという意見もあるが、ICTの発達による在宅勤務、短時間労働、女性や高齢者が働きやすい環境づくり、働き方改革も合わせてすすめる必要がある。</p> <p>また、物質的な豊かさから縄文を含めた精神的な豊かさを重視する傾向や支え合いを重んじる文化の醸成に対して、今までにない新しいビジネスチャンスととらえるような発想の転換を促すなど、行政も市民も夢を持って計画を推進する必要がある。</p>
委員	<p>茅野市の特徴のひとつは、『オシャレでステキな田舎』というコンセプト。知名度抜群の軽井沢は別荘件数日本一だが、茅野市は軽井沢の次に別荘軒数が多い。軽井沢リゾートに匹敵するほどの環境でありながらも停滞気味の現状にある。</p> <p>過ごしやすい夏季だけでなく通年訪れてもらうために、新しいことを模索するよりも、すでにある別荘の活用等を考えてはどうか。</p> <p>例えば税のあり方なども含めて、茅野市の方針を更に大きく転換することも必要ではないか。</p>
委員	<p>全体ミーティングでは、将来展望人口や各政策において、経済成長率との整合は図っておらず、KPIも決めていないとのことであった。しかし、少なくとも、現在重点的に取り組んでいる観光や人口減少対策でも重要となる雇用などの産業経済分野においては、状況の把握やそれを踏まえた予算付けにより着実にプランを推進するために、明確なKPIを設ける必要がある。</p>
会長	<p>具体的な目標を、という意見をいただいた。</p> <p>いただいた貴重な意見を、どの様にまとめるか事務局の考えは。</p>
事務局	<p>本日いただいたご意見や市民プラン進行管理委員会からのご提言を踏まえ、事務局でたたき台を作り、正副会長とやり取りを進め、次回審議会で答申書に盛り込む案としてお示しできる状態にしたい。時間的に可能であれば次回審議会前に委員の皆様とメール等でやり取りができれば、と思っている。</p>
会長	<p>いただいた意見は正副会長でまとめ、次回審議会で皆さんにお目通しいただきたいと考えている。</p> <p>答申を渡す段階に入っているが、その段取りはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>本日、素案に関してはパブコメに回すご承認をいただいたので必要な手続きの後、直ちに約1ヶ月間のパブコメに入りたい。</p> <p>次回会議日程は、平成30年2月1日(木)に第9回審議회를予定している。パブコメの意見と対応等を報告させていただき、基本構想(案)として最終的に答申をいただく内容を議論いただきたい。議論後、答申内容に了解をいただいた場合は、別日に正副会長から市長へ答申書と基本構想(案)を</p>

渡すという形とさせていただきたい。別日は2月上旬を考えている。

事務局

5 その他

次回会議日程 第9回：平成30年2月1日(木)

午後6時30分 市役所8階大ホール

副会長

6 閉会

皆さまのご意見をいただき、茅野市なりの新しい答申書の付帯ができあがると思う。今年最後となった第8回茅野市総合計画審議会を終わりとする。

以上